

兵庫県弁護士会取調べの可視化市民集会

弁護人の立場から見た「虚偽自白と冤罪事件」 ～「再審・東住吉放火殺人事件」の真実～

兵庫県弁護士会では、取調べの全過程の録画の導入を含む刑事訴訟法改正の一刻も早い実現を目指して、国会や地方議会への働きかけ等、様々な活動を行ってまいりました。

このたび、後藤貞人弁護士、乗井弥生弁護士をお招きし、取調べの可視化の必要性について考え、実現を訴えるための集会を開催いたします。

刑事弁護人として多数の無罪判決を勝ち取ってこられた後藤貞人弁護士には、えん罪事件と虚偽自白の関係について、また「東住吉放火殺人事件」の中心的弁護人である乗井弥生弁護士には、虚偽自白が悲惨な冤罪事件につながったケースについて、それぞれ語っていただきます。

多数の皆様のご参加をお待ちしています。

日時 平成25年8月3日(土) 午後1時～3時30分 開場 12時30分

場所 兵庫県弁護士会館 4階講堂
神戸市中央区橘通 1-4-3

内容

1. 取調べの可視化についての現状報告
2. 講演

後藤 貞人 弁護士
乗井 弥生 弁護士



駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用下さい。
高速神戸駅下車徒歩7分
JR神戸駅下車徒歩8分

入場無料 予約不要
当日先着180名

主催：兵庫県弁護士会 (お問い合わせ先 078-341-7061)

共催：日本弁護士連合会